

## 広報編集特別委員会



委員長  
大村 裕一郎  
副委員長  
清原 さおり  
委員  
三宮 美香  
村山 龍一  
中山 直之

### 編集後記

改選後初の定例会が開催され、広報委員会も新しい委員構成となりました。

以前から広報編集特別委員会が積み上げてきた実績を引き継ぎ、これからも町民の皆さまに議会の情報をしっかりお届けして参ります。

そして、議会だよりはもちろんですが、傍聴もお待ちしております。お時間の許す方はぜひ議場に足をお運びください。また、議会だよりに関するご意見ご感想も随時お待ちしておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。（大村 裕一郎）

次回定例会は

**6月4日(水)開催予定**

(日程は変更になる場合があります)

日程 6月4日(水)～13日(金)(予定)

会場 庁舎 4階 議場

議会広報編集特別委員会

編集: (委員長) 大村 裕一郎 (副委員長) 清原 さおり

(委員) 三宮 美香/村山 龍一/中山 直之

発行責任者: (議長) 坂本 典光

令和7年5月15日 第111号 発行/熊本県菊池郡大津町議会  
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キャップ

〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096) 293-8989

↓ 皆さまの声をお寄せください！

切り取ってお出しください

郵便はがき



料金受取人払郵便



大津局 承認

901

差出有効期間

2026年5月14

日まで

(9時半を過ぎるとはじく)

(受取人)

大津町大字大津1233番地

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

ふりがな

ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにて記入ください。

□□□-□□□□

ご住所

お電話 ( ) - ( ) - ( )

おおづまち議会だより

02U

2025  
111号

今月の定例会は

12月 3月

9月 6月



4月20日  
つつじ祭りでの武者行列

UD  
FONT  
見やすく読みやすい  
ユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

この議会だよりは  
リサイクル推進のため  
再生紙を利用しています。

## 議員の賛否を公開します

| 上程された議案・概要         | 坂本典光 | 岩下啓史 | 中山唐之 | 清原さおり | 大塚勝一 | 村山龍一 | 大村裕一郎 | 田代元気 | 時松智弘 | 大塚龍一 | 三宮美香 | 山部良二 | 山本富天 | 豊瀬和久 | 佐藤真一 | 大塚龍一 | 賛成<br>(○) | 反対<br>(●) |
|--------------------|------|------|------|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----------|-----------|
| 令和7年度大津町一般会計       | —    | ●    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 14        | 1         |
| 令和7年度大津町国民健康保険特別会計 | —    | ●    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | 14        | 1         |

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

■賛否表 ○は賛成 ●は反対 葉は棄権 欠は欠席

その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

本会議動画配信



## 議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)

|        |                                                                                                 |                                                                                                               |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 村山龍一議員 | 問 町営住宅工事費などが減額となっているが、内容について詳しい説明を。                                                             | 答 令和6年度の当初予算は、国への補助金要望額を計上したが、予定していた国への要望額が約1億円減額となったため。                                                      |
| 佐藤真一議員 | 問 工業団地特別会計の補正予算で、次年度から支出するための継続費を設定しているが、次年度の当初予算には用地買収分の収支が計上されていない。これでは4月以降速やかに用地取得することができない。 | 答 当初予算が骨格予算であるため用地費は肉付けとして考えている。予算措置がない状態で本契約はできないため、6月定例会での補正を待たずに、用地買収の合意が得られれば前倒しして臨時議会での補正も考えている。         |
| 豊瀬和久議員 | 問 清掃や地域の安全活動など、元気大津づくり活動の「水水」ポイントは若い人や、新しい住民が参加しやすいよう、スマホで参加できるようなサービスに発展させるべきではないか。            | 答 熊本健康アプリ！げんき！アップくまもとと同じような、熊本県連携中枢都市圏(熊本市を中枢として、近隣の市町村が連携)の共同事業として取り組みないか話を進めていきたい。                          |
| 山部良二議員 | 問 有識者からは現在の津町で起きている住宅の乱開発や地下水の枯渇を心配する声が上がっているが、都市計画マスタープランはそのことを加味した計画となるのか。                    | 答 立地適正化計画を策定することにより、開発地域を誘導することができ、住宅などの開発や建設に届出義務が必要となるため都市計画法で制限することができる。また、福祉施設や公園などへの国の補助を受けることができるようになる。 |
| 三宮美香議員 | 問 自主防災組織は66地区中51地区あるが、地区防災計画は66地区中7地区と策定率が低い。地区防災計画について、町としてどう考えているのか。                          | 答 自主防災組織は70地区中49地区です。先に策定しているところがモデルになりながら、防災士連絡協議会と連携して広められるように支援していきたい。                                     |
| 時松智弘議員 | 問 有害鳥獣、ニホンザルの対策でスターピストルや爆竹、花火、エアガンなどで追い払いを行うが流石はサル知恵、学んで人間を舐めてかかる。根本的な対策として、駆除が必要と思うが対策は。       | 答 猟友会などをお願いしているが、ニホンザルの駆除はなかなか難しいところもある。くくり罠が有効であるとかさまざまな対策を考えており、国や県の指導も仰ぎながらしっかりと有害鳥獣対策に取り組んでいく。            |
| 田代元気議員 | 問 大津北中に通う平川校区の生徒がスクールバスに乗れない状況である。学校まで坂が多く大変な思いで通学しているが、距離の要件を緩和すべきではないか。                       | 答 当該地区について高低差があることは承知している。特例を認める他の地域との公平性の確保が困難となるため、距離の要件で対象外としている。                                          |
| 大塚勝一議員 | 問 高齢者だけでなく、町民への健康維持について栄養状態改善・さまざまな合併症の原因となる歯科口腔清潔についての対策はどうしているか。                              | 答 関係課・団体と連携して栄養や食事についての学習の場を設けるとともに inBody 測定会などで運動についての指導や歯科衛生士による口腔についての相談やアドバイスをやっている。                     |

# 一般会計予算158億9405万円 令和7年度予算が成立しました

3月定例会は、3月10日から25日の16日間の会期で開催され、町長提案の一般会計をはじめとする令和6年度分の補正予算10件と条例関係13件、令和7年度当初予算関係9件と最終日に追加された議案2件と同意2件の計36件が審議され、可決されました。

また、一般質問には11人の議員が登壇しました。

## 一般会計の主な内容



くわしくは  
広報おづ4月号 4〜5Pに  
掲載しています。

### 消防団活動を充実

- 消防団支援団員が使用する被服の整備 **新規 98万円**
- 消防団員の現場対応能力向上を目的としたチェーンソー研修受講費 **97万円**

### 子育て支援を充実

- 子育て支援拠点整備事業 **2249万円**
- 病児保育事業(委託) **1158万円**

### 高齢者福祉を充実

- 高齢者外出支援サービス事業 **416万円**
- シルバー人材センター育成事業 **913万円**

### 農工商併進のまちづくりを推進

- 有害鳥獣対策費用 **668万円**
- スマート農業推進支援事業 **1000万円**
- 工業団地整備に関する事務費等の費用 **1323万円**
- 創業及び新分野に進出する事業者への補助金 **500万円**
- 中小企業人材育成事業補助金 **22万円**
- バイクのまち大津町事業 **29万円**
- 地域プロジェクトマネージャー事業 **625万円**

など

今回の予算は改選後、初の予算となるため最低限必要な経費を盛り込んだ骨格予算となります。新たな経費などは、町長の方針に基づき6月の補正予算で計上されます。





# 総務委員会レポート

## め まぐる はってん なか 目紛しい発展の中でも、



まちづくり懇談会の様子

**Q** まちづくり懇談会について  
住民の参加が少ない。渋滞対策などのテーマを絞って開催したらどうか。職員の時間外勤務手当など費用がかかっている。開催する意味は。

**A** 町としても試行錯誤している。今年度も興味を持ってもらえるような内容にしていきたい。職員は地区担当職員の立場で参加し、時間外勤務手当を支給している。人材育成も兼ねているため有効な時間だと認識している。効果的な内容にしていくように努める。

**Q** 地域の活動でポイントがもらえる「水水ポイント」の取組み拡大について  
水水ポイント周知が足りないのでは。町ならではの取組みも必要ではないか。

**A** 団体での登録も少しずつ増えているところ。熊本市のポイントアプリなどの状況を踏まえて検討していく。



ごみ拾いの様子

10代、20代の若者が狙われています。

それは「バイト」ではなく、「犯罪」です!!

**Q** 間バイトを防ぐには  
高校生の間バイトが増えている。未然に防ぐ対策は。

**A** ソフトバンクと包括連携協定を締結しており、集合型のスマホ教室開催もできるため、警察や学校と情報共有しながら進めていければと考えている。

## ちょうみん こえ き ちょうせい 町民の声が聞かれる町政を



**Q** 南部地区での深刻な騒音問題  
陣内地区や岩坂地区などの南部地区で航空機騒音の問合せが出ている。現状の騒音測定状況及び住民への説明状況は。南部地区だけではなく町の問題として、基準があるならば正しい情報を住民へ周知することが必要ではないか。

**A** 熊本空港周辺環境整備協議会大津部会の会議の中で、県や空港から測定値は基準以下だと説明を受けており、区長とも意見交換をしている。地域ではうるさくて屋外で会話ができない、地響きがあるという意見もあり、測定方法に疑問の声があるのも承知している。大津部会での意見を県にも伝え、飛行ルートについても協議をしている。今後解決に向けて協議をしていく。

**Q** カーブミラーの設置について、一時停止標識が隣にあれば設置することができないなど、要件が厳しいのではないか。

**A** カーブミラーの設置については、区からの要望を受け、その後大津地区交通安全協会大津支部の評議員が調査を行い、設置の可否を判断している。その際、交通ルールを守れば設置が不要と判断される場合もあるが、停止線がある箇所でも、合流先の車の速度が速い場所など危険がある場合には設置することもある。また、設置先が個人の土地や通行の支障になるような箇所は除外することもある。



**Q** 増加するホテル入湯税の今後の見込みは  
入湯税は大津町ではどのような使い方をしているのか。また、新しいホテルが建設されているが温泉施設はあるのか。

**A** 本町では商業観光課の観光費に充てている。また、今後の収収は、鉱泉浴場の建設もふまえて増収見込みである。

**プチ知識**  
※入湯税とは 温泉に入った客に代わって、施設の経営者が市町村に納めるもの。貴重な財源となる。



# 町の観光振興を図る



町道の除草作業

**Q** 事故報告があった草刈り時の飛び石対策はどうするか。  
**A** 飛び石対策のボードを準備し対応する。それまでは、石などが飛びにくい刈払い機の刃で行う。  
**意見** 草刈り講習の受講や事故リスクの認識をもって作業することを徹底してもらいたい。

## 除草作業での事故防止対策



平成31年3月大津町マスタープランを引用

## 町都市マスタープランの進捗

**Q** 都市計画審議会が3月に行われたが、今後の予定と実務的な計画の検討は行われているのか。  
**A** 都市計画審議会では、大津町の現状や課題、将来的な都市像についての審議を行った。令和7年度は、住民アンケートやワークショップ、地域懇談会、パブリックコメントなどを実施しながら、都市計画審議会を開催し、都市計画マスタープランの改定を行う。



下水道の点検状況

**Q** 埼玉県での下水道の事故を受けて大津町でも下水道管の点検を行ったのか。  
**A** 熊本県から管径2m以上の管について緊急点検の指示があった。大津町内では、最大90cmなので対象の管はなかったが、主要幹線を町独自でパトロールをしたところ不自然な陥没などは確認されなかった。また、定期的にカメラを使った腐食の調査も実施しており、不具合を発見した場合は管更生を行っている。

## 下水道管の点検

# 組織力強化と

## 経済建設委員会レポート

そ し き り ょ く き ょ う か

### Q 追い払う

とにかく人慣れをさせない。「人は怖い」「人は敵だ」と思わせることが重要です。慣れよく地域の連係プレーで追い払いましょう。大きな音などで自分できる工夫をしましょう。



熊本県農林水産部農産振興局 村づくり課より

### 鳥獣被害対策

**Q** 最近猿の出没が多い。対策はどうなっているのか。  
**A** 猿への対策はスターターなどでの音による追い払いが主となっている。追い払いだけでは限界があるため、有害鳥獣駆除を行う実施隊と対策の調査研究をしている。

## 地域プロジェクトマネージャーと観光ビジョン



地域プロジェクトマネージャーの概要

**Q** 観光協会の組織力強化と観光ビジョンの構築についてどう考えているのか。  
**A** 地域プロジェクトマネージャーを採用することにより組織力強化を図るところ。観光協会へは町の観光振興の活動を実施する部分などを委託してさまざまな取り組みを商業観光課と連携し実施している。観光ビジョンについては、町の課題と優位性を整理して取り組む。



通勤バス

## 通勤バスの学生の利用

**Q** 通勤バスには高校生などの学生も乗れるということだが、翔陽高校への周知は行っているのか。  
**A** 通勤バスのダイヤやルートは運航開始前に翔陽高校に説明を行っており、既に乗車している。引き続きPRを行う。  
**意見** 利用しやすいダイヤや便数があれば学生の利用にもつながる。学校にもPRしてほしい。



# 文教厚生 委員会 レポート

## まちきふき町への寄附の決まり



大津町武道館

**Q** この寄附は議会の議決が必要で「負担付き寄附」にあたるのではないかと町が負担する電気工事は反対給付にあたる。

**A** 負担付き寄附とみなされる要件である、反対給付がなされない場合の寄附解除の条件はなく、負担付き寄附には当たらないと考える。また、本来であれば町が空調を設置すべきところ、町民から空調機本体の寄附を受けたので町も協力し、一緒に設置するという考え方で行う。

**意見** 寄附者の意思が確認できない。「寄附も契約」の意識をもち、寄附採納のルールを検討すべき。

**武道館への冷暖房寄附**

## たんとうかめいかくや担当課を明確にすべき



町所有スクールバス

**Q** スクールバスの利用基準について、通学距離だけでなく、高低差や通学時間などにより運用を拡大してほしいとの要望があると聞く。バスの乗車人数に余裕があるのなら、一度、ニーズ調査をしてみてはどうか。

**A** 基準のひとつである距離要件では、小学校でおおむね4km、中学校でおおむね6kmがある。どのようなニーズがあり、対応が可能かどうかを含めて考えていく。

**スクールバス利用基準は**

**Q** 修繕料について、以前、大津保育園との統合まであと数年なので、修繕は前倒して行うほうが良いのではないかと話をしたが、その後の状況は。

**A** 令和6年度は20万円の予算を組み、扇風機、給食用冷蔵庫等の修理を行った。今後も修繕が必要なものは前倒しで対応していく。

**陣内幼稚園の修繕は前倒して**



町立陣内幼稚園園舎

**Q** 小中学校体育館の貸し出しのためのリモートロックの使用料が、小学校費・中学校費で計上されている。学校施設の開放に關することなので、社会教育費で負担すべきではないか。

**A** 学校施設利用者の利便性を考慮し、リモートロックを導入した。現在、教育施設課が機器設置をしたことから管理を担当しているが、将来的には、生涯学習課で二括管理していきたい。

**リモートロックの管理は**



旧矢護川川体育館のリモートロック



厚生労働省HPより引用

**Q** 「予防接種委託」の増額の理由は何か。

**A** 新型コロナウイルスの予防接種委託について、令和6年度は新型コロナウイルス感染症対策費で予算計上していたが、令和7年度は予防費に移行したことで、約3千万円増額した。

また、带状疱疹ワクチン接種を新たに追加したことにより、約700万円増額している。

**予防接種委託増額の理由は**



大津町国保パンフレット

**Q** 国保税率などの引き上げを行ったことで、国保加入者の負担が大きくなっている。国保税率などの引き下げについて検討をしているのか。

**A** 国民健康保険特別会計の現在の財政状況として、令和7年度の当初予算は7千万円の赤字となっており、今後も赤字が続くことが見込まれている。特別会計は「独立採算制」であり、現在の財政状況では国保税率などを引き下げることが難しいと考えている。

**国保税率などの引き下げを**

## Q 一刻も早く小中学校給食費の無償化を

### A 財政的に難しい

熊本県内の給食費無償化の自治体



県内45市町村の内、15市町村  
○和木町、玉串町、彦山村、津奈木町、戸北町、  
深堀町、山形村、五木村、水上村、朝霞町、朝町、  
多良木町、湯前町  
○宇城市 2020年から  
○荒瀬町 今年度から  
○熊本市と八代市 2020年度を目途に

いわした けいし  
岩下 啓史議員



Q 町民の暮らしは、物価高騰により苦しくなっている。学校給食を早く無償化してほしいという切実な要望が私たちのもとに寄せられている。憲法26条では義務教育は無償と定められており、学校給食は、教育の一環である。この給食費無償化の願いに添えるべきではないか。大津町の税収は着実に増えており、今後も税収の増加が予測されている。子育て支援・教

育環境日本一のまちづくりを掲げるならば、一刻も早く小中学校の給食費の無償化を実施するべきではないか。  
A 緩やかな税収の伸び以上に扶助費も増加している。また、人口増加に伴うインフラ整備や老朽施設の更新にも多額の予算が必要で、現状では給食費無償化のニーズは認識しているものの、一律の家計支援ではなく、基礎自治体でしか取り組めないスクールソーシャルワーカーの配置や校内支援センターの新設、校舎などの大規模改修など「子どもたちの環境整備」に重点を置いている。引き続き、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、保護者負担の軽減に取り組むとともに、子どもの就学に伴う経済的負担が困難な世帯に対する就学援助制度の活用を今後も推進している。

#### その他の質問

・持続的な農業支援の仕組みづくりと給食センターでの町内米の使用

## Q 世界で一番住みたいまちとは

### A 合併は行わず町単独で町政を継続したい

むらやま りゅういち  
村山 龍一議員



Q 大津町は、昭和31年町村合併した。合併後人口は減少したが、企業誘致などにより、人口は増加傾向となっており、また、まちづくりを行っていくためには財源も必要となる。人口が増加し、収入を安定するからこそ、町長が目指す世界で一番住みたい。住みたい町ができるものと思っている。具体的に町の人口を5万人以上にして市制を目指すのか、近隣の菊陽町との合併なのか、菊陽町と合志市と合併し東熊本市なのか、もっと違う町との合併を考えているのか。

A まちづくりで大切なことは、単に町の拡大発展ばかりを目指すのではなく、様々な変化の中で、いかに住民の皆さまの暮らしを維持、向上させるかだと考えている。人口や立地企業数がいかに増加しても、今、住み暮らしがまま、あるいは新たに移り住む方々にとってよい環境とならなければ、それは成功したまちづくりといえないと感じているので、今現在合併によるメリットは見出せないため町単独で町政を継続したい。(町長)



大津町人口ビジョン

#### その他の質問

・トップセールスについて  
・2期目の町政の重点事項について

# 一般質問

## 町政を問う 3月定例会

### 一般質問に16人中11人が登壇



録画配信は顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。

町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信は行っています。

※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

## Q 帯状疱疹ワクチン接種への助成は

### A 自己負担は接種費用の4割程度

とよせ かずひさ  
豊瀬 和久議員



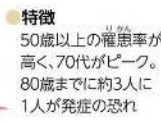
#### 帯状疱疹ってなに？

##### 主な症状

赤い発疹や水ぶくれ、神経痛などが現れる皮膚疾患。長引くと後遺症が残る場合も

##### 発症の原因

過去に感染した水ぼうそうのウイルスが治癒後も体内に潜伏しており、大人になって免疫力が低下した時に、ウイルスが再活性化し発症



帯状疱疹ワクチンの詳細

#### その他の質問

・外出支援サービスについて  
・乗合タクシーの対象地区及び、降車区域の拡大について  
・ごみの減量化、資源化についての取り組み及び、GIGAスクール構想の下で整備された端末の更新について

Q 国は、総接種費用の3割程度を地方交付税で支援する。町としても、接種対象者がそれぞれの特性を理解し、自分の意思でワクチンを選択できるように助成や情報提供をする必要があるのではないかと。特に高齢の接種対象者は、わかりやすく正しい情報の周知が欠かせない。

A 公費助成は6割程度で、個人で負担する自己負担金は4割程度と考えている。菊池郡市では生ワクチンが一回3200円、組替えワクチンが一回8000円と考えている。2つのワクチンには、異なる点があるので、接種を希望する人が自分に合ったワクチンを選択できるように医療機関への周知徹底と、個人通知に同封する説明書や町広報誌、ホームページなどで情報提供を行う。(住民福祉部長)



## Q 早急な安全対策が必要である

### A 関係機関と協議を重ねていく



陣内交差点

その他の質問  
・学校給食について

たしろ げんき  
田代 元氣議員



Q 長年の懸念である陣内交差点や小林地区の通学路の他、町内には多くの危険な通学路や生活路があるが、対策が進んでいないのが現状である。陣内交差点においては、数年前に交差点南側には大型車が入り込むという事故もあり、通学時間と重なっていたら大惨事になっていたことは明白である。小林地区においても樹木が多いことで大変危険な現状である。今後、県トラック協会へ迂回の要請や、行政執行を行

うなどの対策が必要ではないか。また、この二カ所以外の交通安全プログラム対策箇所についても早急な安全対策が必要ではないか。

A 陣内交差点については用地交渉が難航しており、進展しない現状である。トラック協会へ迂回の要請や行政執行については、関係機関へ確認をされている。小林地区については、清掃回数が増えたり、関係機関と協議を行い、環境整備に努めていきたい。(都市整備部長)

## Q ライフステージによる心身不調に理解を

### A 配慮が必要な職員や住民の支援に努める

| カラダ                                                  | こころ                                                  |
|------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| ほてり、のぼせ、盗汗・寝汗、血圧などがもろくなる、むくみ、関節が手足の痺れ、めまい、息切れ、肩こり、腰痛 | イライラ、不安、緊張、涙に弱い、頭がめまい、吐き気、無気力                        |
| 月経の変化                                                | 外見                                                   |
| 経血量の増減、月経周期が不規則になる、不正出血、おりものの量が変わる                   | 髪の毛のハリツヤが減少、眉毛や目尻、髪が薄くなる、目の奥の疲れ、目の乾燥、しわ、シミ、たるみ、顔のたるみ |

一般的にいわれている  
女性の更年期障害  
の特徴

きよはら  
清原 さおり議員



Q 現在、労働人口が減少し、女性の社会進出がますます求められている。以前より働きやすい環境が整いつつあるが、それでもまだ課題は多く残っている。その一つとして、更年期障害に対する理解と職場環境の整備があるが、町に相談窓口やサポート制度はあるか。また頻繁なトイレ利用が必要な人への配慮や、休憩時間の柔軟な運用、啓発活動や研修実施の予定はあるか。役場のトイレにサニタリー用品の自販機を設置することを検討できないか。

A 職員の健康管理は総務課人事係が窓口となり、保健師や産業医の面談体制を整えている。また、トイレ休憩の配慮について、会議運営マニュアルへの記載を進める。サニタリー用品自販機の設置については、職員のニーズや費用を調査した上で判断し、防災備蓄の活用も視野にいれている。また、管理職向け研修の実施や、広報誌での更年期障害の特集など、理解を深めるための取り組みを検討していく。(町長)

## Q 公共交通充実と自家用車利用減で渋滞解消を

### A 公共交通利用意識を醸成し渋滞対策も進める



実証運行中の通勤バスの利用促進も

その他の質問  
・下水道管渠の安全対策と開発地域の商業排水処理の見直し  
・外国人相談窓口の室昇格と地域の問題等への対応支援を

ときまつ とむひろ  
時松 智弘議員



Q 昨年総務委員会にて公共交通の再編について政策提言を行った。中九州横断道路や空港アクセス鉄道の計画と並行し、交通結節点の機能強化、公共交通の利便性を向上させることは必須である。1割の通勤者が公共交通に転換すれば渋滞が解消されるとの研究結果もある。町民の移動手段における自家用車利用率は約85%。これを70%にできれば渋滞は緩和する。自家用車利用を抑制し、公共交通の支援を行って渋滞解消につなげる考えはないか。

A 近年の社会環境の変化に伴う交通渋滞の対策は喫緊の課題だ。昨年10月から運行している通勤バスの実証運行も、通勤車両台数を削減できていると認識している。加えて肥後大津駅北側のバス転回広場の整備で公共交通の利便性向上を図り、公共交通基盤を整備し、公共交通利用を促進し、渋滞解消につなげていく。通勤形態や利用ニーズの把握、急速に進む企業進出や住宅開発などに伴う新たな交通需要予測などにも努め、意識醸成を行う。(町長)

## Q 道路の補修整備をどう進めるか

### A 道路の適正な維持管理に努めていく



おおつか かつじ  
大塚 勝二議員



Q 大津町内の道路で白線消えや道路の亀裂などが目立つが道路の補修・整備対策はどうなっているのか。

A スマートフォンで道路の舗装状況や側溝白線の不具合について住民からお知らせしてもらおうシステムを導入している。舗装修繕計画を作成中で優先順位をつけて計画的に整備する。県・国道についても要望し整備していく。(町長)

町道については、地元要望を聞き現地確認後、路面の状態・危険箇所等を含めて精査し予算化している。県道については、年に一度、町民などからの情報も整理し、職員で現地確認・精査して県へ要望し県が舗装補修計画するようにしている。現在、町でも舗装修繕計画を作成中で、町道の舗装状態から点数付け・順位付けして予算算出し、計画的に整備していく。また、軽微な修繕や緊急性があるものについては、日常の道路パトロールやスマホでの情報提供で把握し早期発見・早期修繕を行い道路の適正な維持管理に努めていく。(都市整備部長)

その他の質問  
・体育館・グラウンド・テニスコート等の整備・点検について  
・シニアカーが安全に通行できるための歩道の整備・点検について

## Q 町民・法人町民税減税を

### A 町民・法人町民税減税する必要はない

やまべ りょうじ  
山部 良二議員



私の考える名古屋市の減税がもたらした効果

- ①企業の負担軽減
- ②競争力の向上
- ③新たな企業誘致
- ④経済活性化の波及効果

#### その他の質問

- ・計画的な土地利用の推進（地下水保全等）
- ・三吉原北出口線打ち替え工事について

Q ちまたでは多くの物の値段が上がっている。要因は原材料・物流・資材などのコストが上がっているからで、4月には4千品目以上の食料品などが値上げされる。この状況で町は下水道料金の更なる値上げ検討。名古屋市では住民税5%減税を行い、減収どころか経済成長している。本町には工業団地もできる。減税は企業誘致に寄与し、法人町民税減税は成長戦略として有益。確かに一旦は減税になるが、いずれそれ以上のメリットがある。

A 物価高騰が続く中、子育てや生活費の負担が増し、生活が苦しいと感じている人が多いことは認識している。また名古屋市の法人住民税減税は、企業立地に誘致や経済成長に寄与している点は理解できるが、町長の答弁にあったが、町は固定資産減税を実施しており、さらに企業に対する誘致措置として大津町工業等振興奨励補助金を交付している。したがって、現時点では法人町民税を減税する必要はないと考えている。（住民生活部長）

## Q 南小学校の洋式トイレの少なさの改善へ

### A 新年度での洋式トイレ化に対応をする

やまもと ふじお  
山本 富二夫議員



南小学校のトイレ

#### その他の質問

- ・飲食店や小売店でのバイト不足の問題を問う

Q 大津町立南小学校、今年度入学予定の体験入学が2月5日にあり、入学予定の子どもたちは楽しい時間を過ごした。だが、トイレに入ったときに、洋式トイレが一室でほかのトイレは和式トイレのため、家族から洋式化にできないかと相談があり、今回の質問をする。

A 南小学校は建築されて約48年が経過しようとしている。建て替えの計画もありトイレの洋式化は抑えていた。和式のトイレを使い慣れていない児童も増えている。また、和式のトイレを嫌がる児童が多いと思うので学校や児童の状況をみながら洋式トイレを増やしていく。今後、学校と協議しながら、当面必要と思われる数の洋式トイレについては、新年度の早めの対応をしていく。（教育長・教育部長）

## Q 小規模圃場整備を推進すべきではないか

### A 事業実施可能性の調査に努めていく

おおむら ゆういちろう  
大村 裕一郎議員



#### その他の質問

- ・町長の農業に関する所信表明について

Q 農業用機械の大型化に伴い、大津町では圃場整備を継続的に行なってきたが、その内容は非常に大規模なものがほとんどである。計画的に行う大規模な圃場整備は必要不可欠であるが、全体として田畑の減少している大津町においては小規模に行う畦畔の除去や数枚単位での区画整理などを補助し、その仕組みを整え、耕作放棄地の発生を抑止や担い手が耕作できる田畑の確保を行うべきではないか。

A これからの農業を考えると、現在の担い手が高齢化していくこと、農業後継者も減少すること、これに伴い、不整形で面積がまばらな農地や圃場整備地内であって、一区画の面積が狭い農地などは、耕作が見つからなくなる可能性もあると考えている。将来、このような状況は回避すべき課題と考え、国補助事業の活用による小規模区画整理や畦畔除去を希望する担い手と、事業実施可能性の調査、農地耕作条件改善事業のさらなる周知にも努めたいと考えている。（町長）

## Q 地域課題を解決するプレーパーク導入の意義

### A プレーパークの理念を今後に活かす

なかやま なおゆき  
中山 直之議員



川崎市子ども夢パークでのもちつきの様子

#### その他の質問

- ・大津町こども計画への子どもの参加について

Q プレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」を基本とし、子どもが、自然の中で主体的に育つ場である。不登校などの子どもの居場所や多様な学びを促進する場としてだけでなく、子どもから高齢者まで多世代が関わり、楽しみながら地域の見守りや孤立防止、移住促進になるなど、地域活性化にもつながる。こうした点から、地域課題の解決に貢献すると国内外で注目されている。町としてこの意義をどう受け止めるのか。

A プレーパークの理念は子どもへの健全育成や地域のつながりづくり、資するものであり、まちづくりに積極的に取り入れていきたいと考えている。まずは既存の公園のルールを見直しも含め、プレーパーク的な使い方ができる方向を検討する。昭和園のリニューアル時にも考え方を取り入れながら、取り組みを模索していく。（町長）



# 議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ80人、ライブ配信再生回数943回 録画配信再生回数 153回(4/14時点)

## 一緒にまちづくりを考えていきたい



むらやま きよみ  
村山 貴良美さん  
(矢護川)

身近な人が町議員になられたので、友だちと一緒に議会定例会を傍聴しました。傍聴席がとてもきれいで目の前で生の議会の様子を観ることができて、なんだか身近に感じられました。

金田町長の「4つの基本方針」や「6つの個別方針」を聴いて、色々考えてくださっている事がよくわかり安心しました。特に「子育て支援・教育環境 日本一のまちづくり」はとても共感しました。ぜひ日本一にして欲しいと思います。

また、大津町内の通りは、駐車スペースが少ないので、買い物しがづらく、つつい大手のスーパーへ寄りがちですが、もっと町内個人経営のお店にぎわう通りになればと思います。

今回の金田町長の所信の表明を聴いて、一町民として町に希望、意見を伝えて、町長や町議員の方々と一緒に、より良いまちづくり住みやすいまちづくりを考えていきたいと思っています。

議会定例会を傍聴するという貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくするような「アイディア」があればお寄せください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

## 初めての議会傍聴



こうし ふみとし  
合志 文利さん  
(杉水)

今回初めて、大津町の議会に、傍聴させていただきました。

今まで、議会を傍聴することなど、考えたこともなかったのですが、同級生が町議に当選したので、ぜひ応援のためにも行ってみようということになりました。

傍聴してみて、これから、発展していく大津町の姿を、想像できましたし、課題も見えてきました。今後も、定期的に傍聴して、大津町のことを、もっとたくさん知って行きたいと思っています。

## ごあいさつ

菊陽町の台湾積体回路製造(TSMC)の進出で隣接する大津町も未曾有の発展が続いています。大津町は阿蘇くまもと空港に近く、JR豊肥本線や国道が走る交通の要衝にあたります。さらなる町の発展につながるよう努力するつもりです。

議会は地方自治の二元代表制の一翼として、大津町の運営を決定する機関であると同時に行政の監視機能の役割を担っています。それらを通して町民の幸せを目指していきたいと思っています。

この度の選挙で若い世代が多く当選しました。この世代が情熱と知性をもって将来の大津町を引っ張っていけるように育成をしていくことも大事だと認識しています。



大津町議会  
議長 坂本 典光

令和7年3月3日午前10時から臨時会(初議会)を開催しました。

投票により議長・副議長の選出を行いました。

〈議長選挙の結果〉

選挙の結果、坂本 典光議員に決定しました。

〈副議長選挙の結果〉

議長の指名推薦で 三宮 美香議員に決定しました。

## 訃報



去る4月26日、大塚 龍一郎総務常任副委員長が

急逝されました

心より哀悼の意を表します

大津町議会議員一同